

1. 病棟の具体的な目標と評価

1) 安全で質の高い看護を提供する

医療的ケア児の退院前後に 6B 病棟と共に患児宅を訪問し、医療機器の作動状況の確認、家の環境、リスクの有無等家族と共に考え、安全に在宅へ移行できるように支援をすることができた。看護記録の監査結果は後期、質的 93 点 量的 95 点で前期の質的 91 点 量的 95 点より上昇し、年間を通して 90 点以上を維持することはできたが、減点箇所があるため、見直し改善が必要である。

2) 病院経営に参画する

NICU の稼働率は、月平均が 94.0%であり、目標は達成している。医療的ケア児が NICU から GCU へ転棟する時は、事前に受け持ち看護師を決め、カンファレンスにて情報共有し移動することができたため、継続看護に繋がり、又、家族の不安の軽減も図れたと評価する。鋼製小物の紛失は 0 件であったが、SPD シールの紛失率は、昨年の 2.4%を上回る 4.9%であった。外装を捨てる際、シールを剥したかのダブルチェックを行ったが改善していないため、紛失防止策を見直す必要がある。ママサポート回診では、回診の手順を見直し、ワークシートやメッセージを日々の受け持ち看護師が記入することでスタッフにママサポート回診の内容や意義が浸透した。メッセージカードを喜ぶ家族や搾乳量が維持、増加している母親もあり、効果は出ていると評価する。また、両親が撮影できるのは静止画像の写真のみであったが、祖父母、きょうだいの入室面会ができなくなったため、児の動きもみられる動画撮影の導入を開始した。トラブルもなく、家族の反応も良いため継続していく。

3) 患者の視点に立った医療安全を推進する

今年度は、3b 以上のインシデントが 3 件発生した。SHELL 分析で振り返りを行い、病棟の手順を改訂した。又、発生が多いインシデントは調乳 44 件・薬剤 26 件・チューブ関連 37 件であり、確認不足によるものは全体の 88%であった。このことより、指差呼称の徹底ができていないと評価し、次年度の課題とする。今年度、感染予防、業務短縮のため、輸液ルートを 1 本化へ変更した。導入時には三方活栓の使用法等、業者による勉強会を開催し、使用方法を写真に撮りわかりやすく掲示した。今後もルートの選択や使用方法を統一していく必要がある。又、院内発症の MRSA が 9 件、ESBL が 4 件であった。手指消毒の使用量が減少したことなど感染対策に課題が残った。災害対策については、KYT を行い物品の場所を統一するなど対策を立てることができた。しかし、災害のシミュレーションを実施していないため次年度の課題とする。

4) 専門職としての能力開発に努める

技術チェックリスト内の 1 年目で習得する必要な項目は NICU はほぼ達成できたが、GCU は経験の少ない項目があった。未経験の内容を全スタッフが把握できるように可視化し達成できるようにしていく。認定看護師 3 名で役割分担を行い、勉強会を開催した。又、院内の研修会の開催、インターンシップの内容検討、ザ・ジャーナルの原稿作成、リソースナースの活動内容・活動日の紹介など新たな取り組みを行い活動の充実を図ることができた。又、退院支援加算は 100%算定できており入院スクリーニングも手順を活用していくことで前期より不備内容が減少した。

5) 看護の先輩として学生の指導に携わる

実習の目的の達成のため指導者を決め、対応する事が出来た。今年度は、見学実習のため児に触れることはできなかったが、NICU・GCU の看護師、臨床心理士や退院支援看護師からの説明により、新生児看護が学べたのではないかと考える。

6) 活気ある職場、元気の出る職場づくりを推進する

今年度は患者数の増加に伴い、ケアや記録にかかる時間が増えたため、超過勤務が月平均 1 名当たり、NICU 10.6 時間 GCU 9.2 時間と、昨年の NICU 3.1 時間、GCU 2 時間と比べ大幅に増加し

た。今後、勤務形態の変更や業務の見直しが必要であり次年度の課題である。

2. 病床運営状況

表 1 令和 2 年度 病床運営状況

看護単位	収容可能 病床数(床)	診療科名	月平均		平均在院 患者数(人)	平均在院 日数(日)	病床 利用率(%)	病床 稼働率(%)	死亡者数 (人)
			新入院患者数(人)	退院患者数(人)					
NICU	18	新生児科 小児外科	16.7	0.9	16.9	58.5	94.0	94.1	2
GCU	32		0.3	3.5	8.8	140.0	27.6	27.9	0

3. 看護体制

表 2 令和 2 年度 看護体制(令和 2 年 4 月 1 日現在)

配置人数(人)	看護方式	夜勤体制(準:深)
62	PNS [®]	NICU 6:6 GCU 2:2

4. 看護統計

1) 部署データ

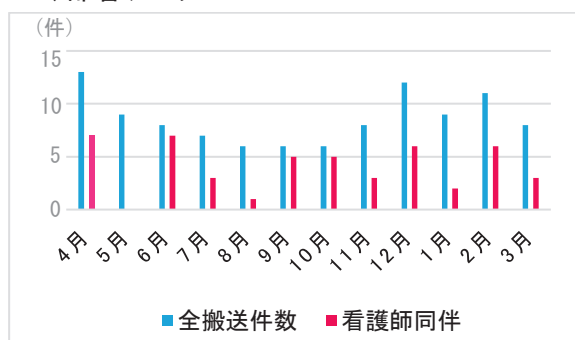


図 1 令和 2 年度新生児搬送件数

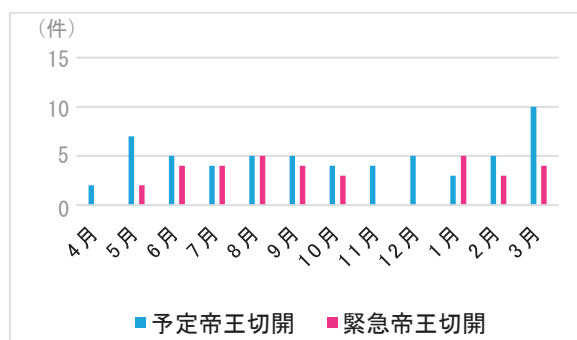


図 2 令和 2 年度帝王切開立ち合い件数

表 3 令和 2 年度 在胎週数別入院患児数

在胎 22～23 週(人)	在胎 24～27 週(人)	在胎 28～31 週(人)	在胎 32～35 週(人)
3	19	30	70

表 4 令和 2 年度 出生体重別患者数

超低出生体重児		極低出生体重児 1000g～1499g(人)	低出生体重児 1500g～2499g(人)	2500g 以上(人)
500g未満(人)	1000g 未満(人)			
1	26	27	101	84